

【公益充実資金積立計画】

1. 公益充実活動等の名称

財政運営資金積立資金（財政運営の安定化のための資金）

2. 目的

大規模自然災害、感染症拡大、取引先の経営悪化等により、センターの収入が急減する可能性がある。公益目的事業を安定的に継続するため、必要な運転資金を確保する。

3. 必要性

センターの事業は高齢者の就業機会提供を中心とする公益目的事業であり、収入の急減は事業継続に重大な影響を及ぼす。特に、自然災害等の突発的事象は予測が困難であり、事業継続のための財源確保が不可欠である。

4. 積立限度額 70,000千円

算定根拠：

配分金相当額の年間支出 4 億 2,000 万円（令和 7 年度決算）

→ 月平均 3,500 万円

→ 2 か月分 7,000 万円

5. 積立期間・積立額

- 財政運営資金積立資産 令和 7 年度末残高 60,000,000 円
- インボイス対策資金積立資産に財政運営資金積立資産から 51,000,000 円を取り崩して充当。残高 9,000,000 円。
- 今後必要な積立額 61,000,000 円
- 年度別積立額（単位：千円）

R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2
18,000	11,000	11,000	11,000	10,000

【公益充実資金積立計画】

1. 公益充実活動等の名称

施設整備資金積立資産（事務所施設改修）

2. 目的

高齢者の就業相談・受付機能を維持するための施設の安全性の確保、バリアフリー化による利便性向上を図るため。

3. 必要性

事務所施設が相当に老朽化しており、雨漏りや空調設備の劣化が見られる。また、トイレが和式で高齢者が利用しにくいいため、バリアフリー化が求められている。

4. 対象施設

- ・ シルバーワークプラザ（本部事務所） 建築年：平成4年（築34年）

5. 実施内容

- ・ 屋上、外壁の防水改修
- ・ 空調設備の改修
- ・ トイレの改修（洋式化、バリアフリー化）
- ・ 防災設備の更新
- ・ 内装の劣化部分の改修ほか

7. 実施予定時期

- ・ シルバーワークプラザ（本部事務所） 令和13年度

8. 所要額（積立限度額）

36,000千円

（積算）

本部事務所 $284.86 \text{ m}^2 \times 125,000 \text{ 円/m}^2 \div 36,000,000 \text{ 円}$

※ 改修の㎡単価は、令和6年度に実施された「しかたこども園」の改修等の単価を参考とした。

※ 物価上昇は考慮していない。

9. 積立期間・積立額

- 施設整備資金積立資産 令和7年度末残高 11,700,000 円
- 今後必要な積立額 24,300,000 円
- 年度別積立額（単位：千円）

R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2
1,000	12,000	7,000	3,800	500

【公益充実資金積立計画】

1. 公益充実活動等の名称

インボイス対策資金積立資産

2. 目的

インボイス制度により、配分金に係る消費税の仕入税額控除に係る経過措置が段階的に縮減され、令和13年度10月から仕入税額控除がゼロになることから、シルバー人材センターの支払う消費税額について負担増が見込まれる。この負担増に備え、公益目的事業の安定的な運営を確保するため。

3. 必要性

免税事業者であるシルバー人材センターの会員が適格請求書を発行せずともセンターが仕入れ税額控除を行えるような特例措置の適用を国に働きかけているが、現状では特例措置の適用は見込めない。センターでは、包括的契約への移行を進めており、官公庁及び一般家庭に対しては包括的契約に移行した。しかしながら、民間事業所に対しては包括的契約に移行することは困難であると考えていることから、民間事業所に係る配分金部分に対する消費税の支払いについて、負担の増加が見込まれる。事業継続のための財源確保が必要である。

4. 負担増の見込み（算定根拠）

消費税の仕入れ税額控除が1年を通じてゼロになる令和14年度の年間の消費税支払額は、年間約2,000万円であり、仕入れ税額控除が100%適用される場合と比較して、年間約1,200万円の負担増となっている。このため、令和14年度以降の5年間の負担増分6,000万円分を積み立てることとする。

5. 積立限度額 60,000千円

6. 積立期間・積立額

- インボイス対策積立資産 令和7年度末残高 0円
- 今後必要な積立額 60,000,000円
- 年度別積立額（単位：千円）

R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2
※51,000 2,000	2,000	2,000	2,000	1,000

※は財政運用資金積立資産を取り崩して充当